

あとがき

このたび、総合医科学研究所紀要第44巻（令和5年度研究報告書）を発行させていただきました。日頃から多大なご支援や協力を頂いている本学の皆様に御礼申し上げます。総合医科学研究所は巴教育研究棟の共同利用施設、解析サービス部門、研究部門と八千代医療センター分室、足立医療センター分室から構成されます。令和5年度には、旧総合研究所と旧統合医科学研究所の研究室が巴教育研究棟・研究施設へ移動し、新規の共焦点レーザー顕微鏡を導入しました。令和6年度は大学の不祥事に伴う体制変革に大きく翻弄される1年となりましたが、総合医科学研究所を利用される先生方の医学研究を滞りなく進めることができるように、職員一同取り組んで参りました。今回の紀要には本院、足立及び八千代の様々な研究室からの報告も掲載されており、研究サポートを行う職員として大変心強く感じます。

総合医科学研究所は従来の電子顕微鏡標本の作製・撮像や、組織染色などのサポートに加え、免疫電顕やノックアウトマウス遺伝子型解析サービスなどのサポートも今後行うべく、現在準備を進めています。またゲノム解析も次世代シーケンスと情報解析に加え、ロングリードシーケンシングの提供も新たに行う予定です。さらにAIを含むバイオインフォマティクスのサポートも提供できるように準備を進めて参ります。東京女子医科大学における医学研究の更なる発展に総合医科学研究所の活動が貢献できることを願っております。

令和7年3月

総合医科学研究所
所長 中村 史雄